

株式会社メドコム

会社紹介資料



MEDCOM



会社について

株式会社メドコムは、医療の情報革命によって、
全ての人々を幸せにするというPURPOSE実現に向け、
医療機関にDXや働き方改革推進の面から貢献していきます。

会社名	株式会社メドコム
設立	2016年7月15日
資本金	4,125 百万円（資本剰余金含む）
従業員数	83名（2025年9月現在）
所在地	東京都江東区豊洲3丁目2-24 豊洲フォレシア9階
掲載メディア	日本経済新聞、時事通信、BRIDGE など





代表取締役 社長 兼 CEO

佐藤 康行

NTT入社後、ドコモシステムズへの出向などを経て、NTTドコモ モバイルデザイン推進室にて複数のプロジェクトをリード。日本アルトマークにて医療情報提供ビジネスの責任者を務めたのち、49歳でNTTドコモを退職して起業。

株式会社メドコム(旧社名：株式会社フロンティア・フィールド) 設立経緯

きっかけは家族のがん罹患

実父が69歳で肝臓がん、義理の妹もがんで他界するなど、がんで亡くなった人間が身近にいる環境でした。

医療の提供側と享受側で情報の非対称性を痛感

その時に、病気や薬に関する知識が乏しく、「こんなにも提供する側と受ける側の情報の非対称性がある業界は医療分野の他にないのではないか」と感じたのです。

医療業界の課題解決のために起業

49歳になった時、「残りの20年で私は何をすべきなのか」「このままサラリーマンとして働き続けるべきなのか」を真剣に考えるようになり、医療業界の課題解決のため、「独立して医療分野の仕事を突き詰めてみたい」と思い立ち、株式会社メドコム(旧社名：株式会社フロンティア・フィールド)の起業を決断しました。

業界に精通したメンバーを揃え、
医療業界のICTニーズのキャッチアップと課題解決を推進。



取締役

大沼 広嗣

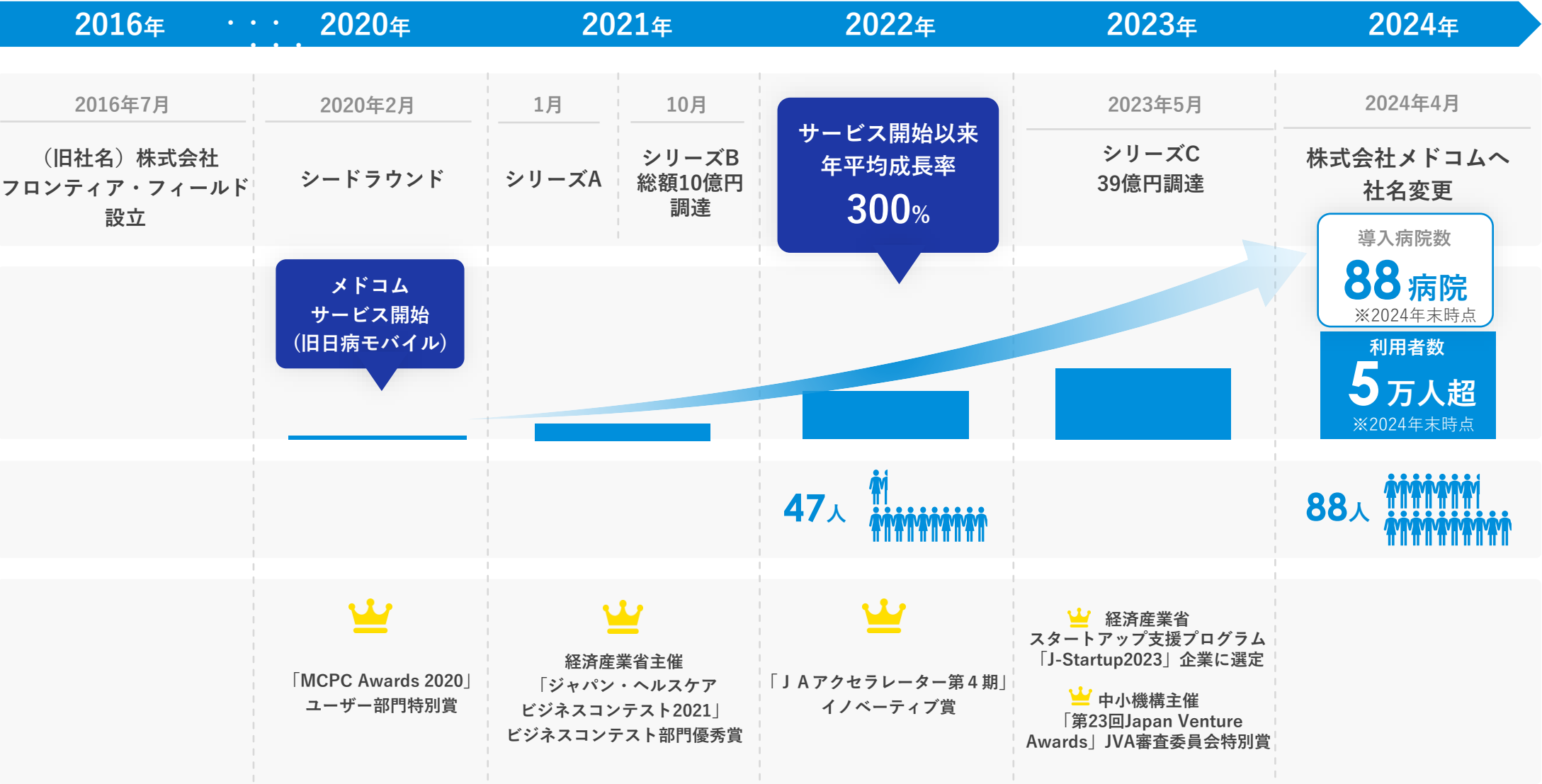
NTT東日本にて企業および官公庁のIT戦略立案や導入を推進。
その後、NTTドコモにて経営企画のマネージャーとして経営目標設定、収支管理、開発管理などに携わる。メドコムでは経営管理部にて、財務・経理・経営企画などを統括。



監査役

市川 正明

NTTドコモで理事、支店長等を歴任。その後、ドコモサポート及びドコモCS中国でドコモのコールセンターの運営責任者、NTTコムウェアで監査役を務める。2023年9月より監査役としてメドコムに参画。



2024年4月に社名を株式会社フロンティア・フィールドから株式会社メドコムへ変更

PURPOSE

医療の情報革命によって、
全ての人々を幸せにする

VISION

医療のICTプラットフォームを創り、
医療をデジタル化する



事業について

労働環境の悪化に伴い、離職率も上昇。人材確保の重要性和難易度が高まっている。

慢性疲労状態

78.4%

休日でも回復しない

疲れが翌日に残る

法定休憩時間の取得不足

75.9%

大体取れている(日勤)

あまり/全く取れていない(日勤)

医療現場で大変なこと (n=415)

業務量のバラつきがある

43.3

アナログな作業が多い

34.3

労働時間が長い

26.0

患者優先による過重労働

25.3

患者ケアに費やす時間の不足

24.6

情報共有における
無駄な転記作業

21.7

ツール・システムを
使いこなせていない

12.7

新卒看護職員の離職率

10.3%に増加(2022年)

通話やアナログ・マニュアル手段に業務が依存している。

スマホがあれば、色々な情報をデジタルのまま共有できるのに…



各バイタルデータを
紙や手にメモ



メモを見て、電子カルテ
にデータを打ち直す



電子カルテ
入力

患者のバイタルデータを
担当医に電話で伝える

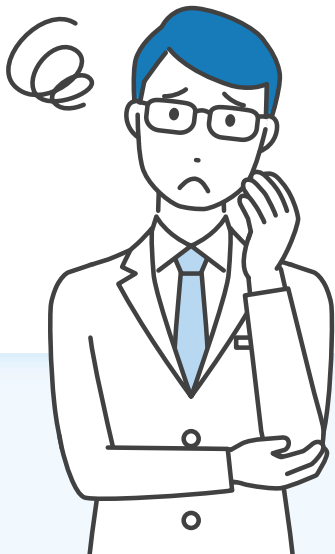


他の医師・看護師からの
電話での指示、
情報を聞き取ってメモ



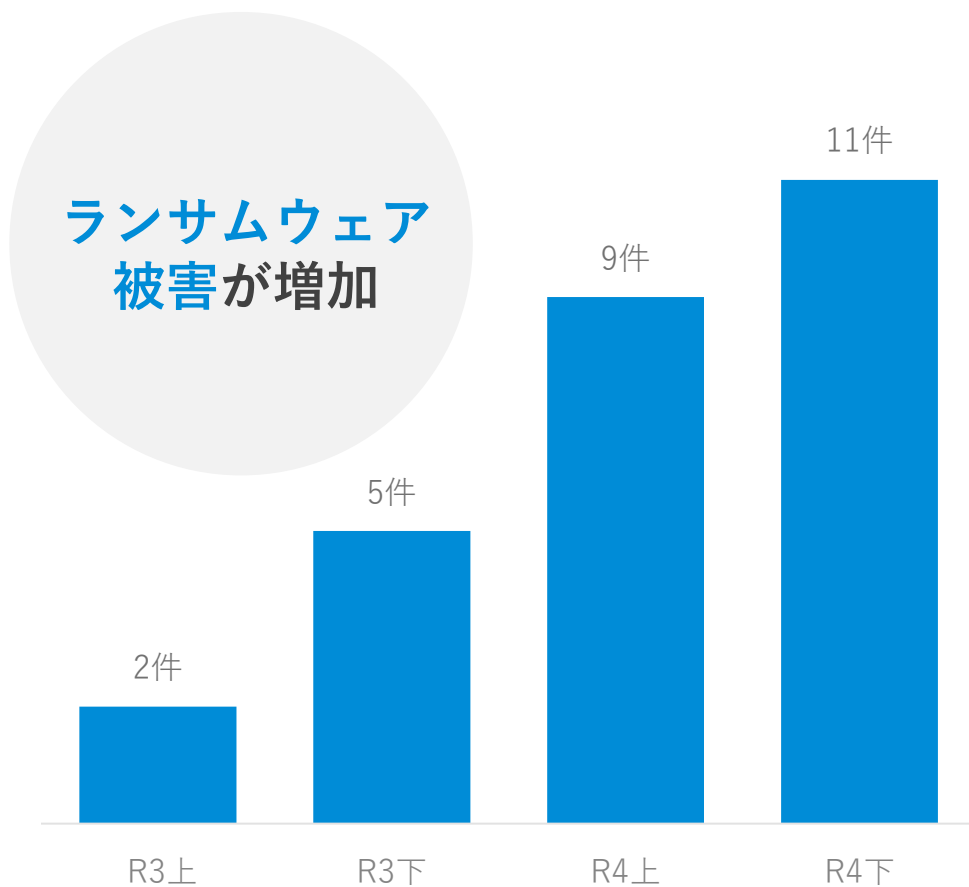
医療業界の現状

- アナログシステムによる医療業界の**非効率性**
- サイバー攻撃の急増により**ランサムウェアの被害**



PHSの代替サービス
及び **DX化が急務！**

医療・福祉分野における「ランサムウェア」の被害件数



電子カルテ等の
医療システムダウンにより
医療提供が中断

患者情報の
流出

といった被害が発生



PHSにある電話機能やナースコール連携機能を完備し、
さらにチャットやカメラ、緊急通報、電子カルテ連携などの機能を付加。
医療機関内の業務フローを大きく変え、課題解決を図る機能を提供。

メドコム

医療機関専用スマートフォン

「端末」「回線」「専用アプリケーション」を包括したサービス

特徴

1

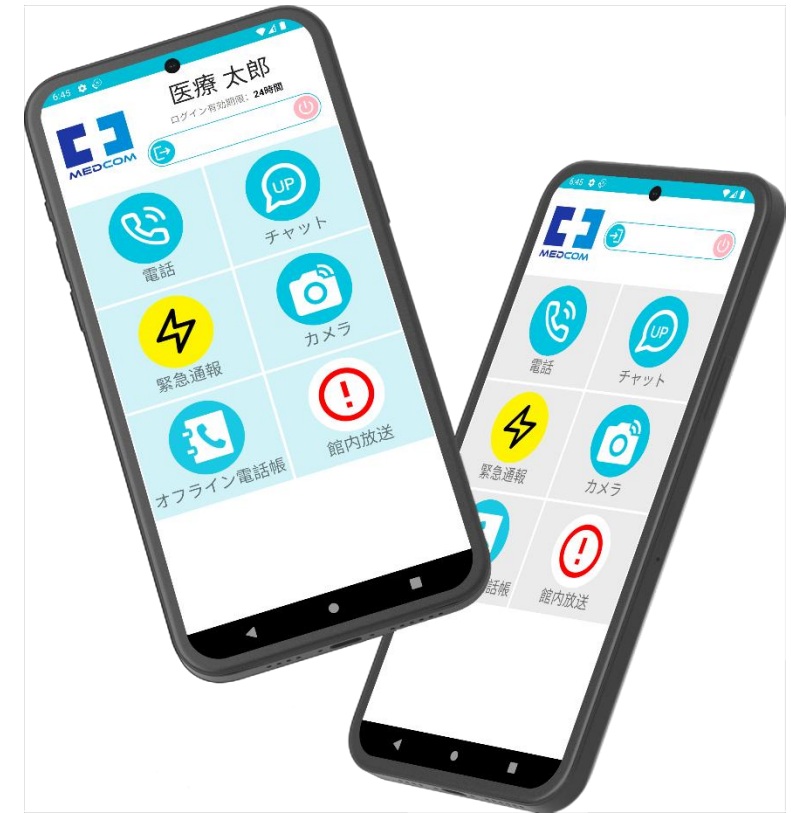
医療機関に特化した
様々な機能を搭載
他システムとの連携も可能

特徴

2

金融機関と同様の強固で
セキュアなシステム構成
(閉域網で構成)

▶ チーム医療の推進や業務の効率化、働き方改革の推進などを支援



メドコムで解決できること

従来のPHS

ナースコール連携・内線



メドコムなら、
ナースコールを受信・または
内線通話が可能



ログイン管理機能



ログイン表示により、
誰が勤務しているかが
判別可能

チャット機能



テキストと写真による
迅速で確実な情報伝達

カメラ機能



管理者が設定した
メンバーのみに
共有できるカメラ機能

モバイル端末管理



モバイル端末管理（MDM）
より管理者による
一括管理を実現

エマージェンシーコール



スタッフの安全を確保する
エマージェンシー機能を
標準搭載

電子カルテ連携



電子カルテ
アプリケーションが
利用可能

メドコムは既に北海道から沖縄県までの
33都道府県・96施設で導入および導入予定です。

33 都道府県

96 施設

導入済医療機関：73施設
導入予定医療機関：23施設

導入病院様（一部）

※2025年9月現在



聖路加国際病院
(東京都/520床)



国立大学法人
山梨大学医学部附属病院
(山梨県/618床)



米沢市立病院
(山形県/263床)



荒尾市立
有明医療センター
(熊本県/274床)



みよし市民病院
(愛知県/114床)



大分赤十字病院
(大分県/340床)



社会福祉法人
恩賜財団 済生会
茨城県立こども病院
(茨城県/115床)



済生会新潟病院
(新潟県/410床)



たまの病院
(岡山県/190床)



余市協会病院
(北海道/165床)



長岡中央総合病院
(新潟県/500床)



柏崎総合医療センター
(新潟県/400床)

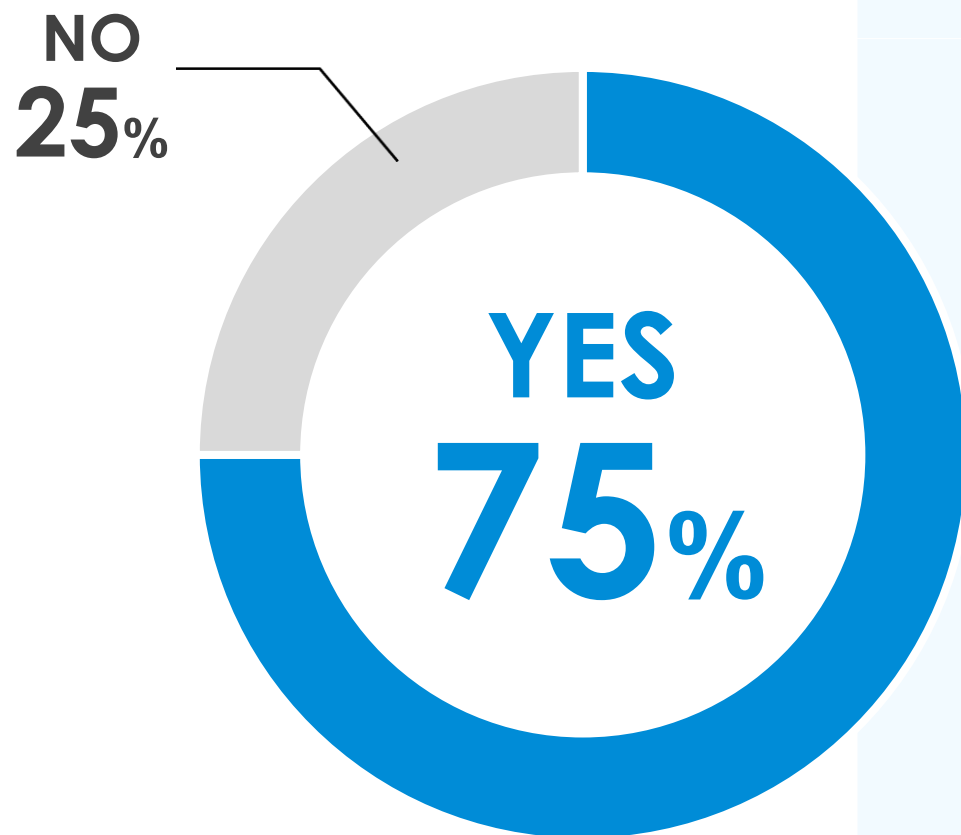


西濃厚生病院
(岐阜県/400床)



中濃厚生病院
(岐阜県/495床)

Q スマートフォンを導入したことにより、職場環境が改善されましたか？



● 業務の効率化



クローズドチャットの利用で
PHSの時のような電話での通話が減った

直接出向くことも減った

● コミュニケーションの確実化



看護師から医師への相談等
写真で確認ができるようになった

ナースコールがとりやすくなった

製品力、技術力、パートナーネットワークの面で
強い競争優位性と模倣困難性を持つ。

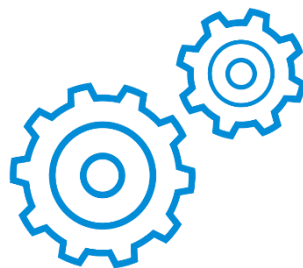
Point 1



院内ICT基盤となる プロダクト

医療機関専用スマホ。
国内で唯一マルチベンダで
PBX・ナースコール・電子カルテ等と連携可能

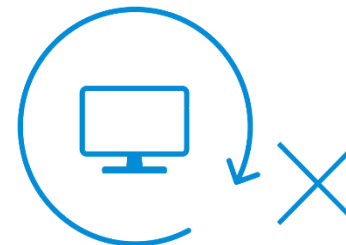
Point 2



技術 ケイパビリティ

医療従事者のニーズを満たす
ソリューションを内製で実現

Point 3



解約率の低さ

院内ICT基盤となるサービス
であり、契約は最短3年間の
継続利用が条件



中期計画

全国8,000病院で使用されている200万台のPHSが更改対象。
更に、病院周辺施設（介護、訪問、診療所）を含めると410万台の市場が潜在。

病院を中核とした
周辺施設



172,300 施設
(**410**万回線)
1,200億円～

日本の病院数



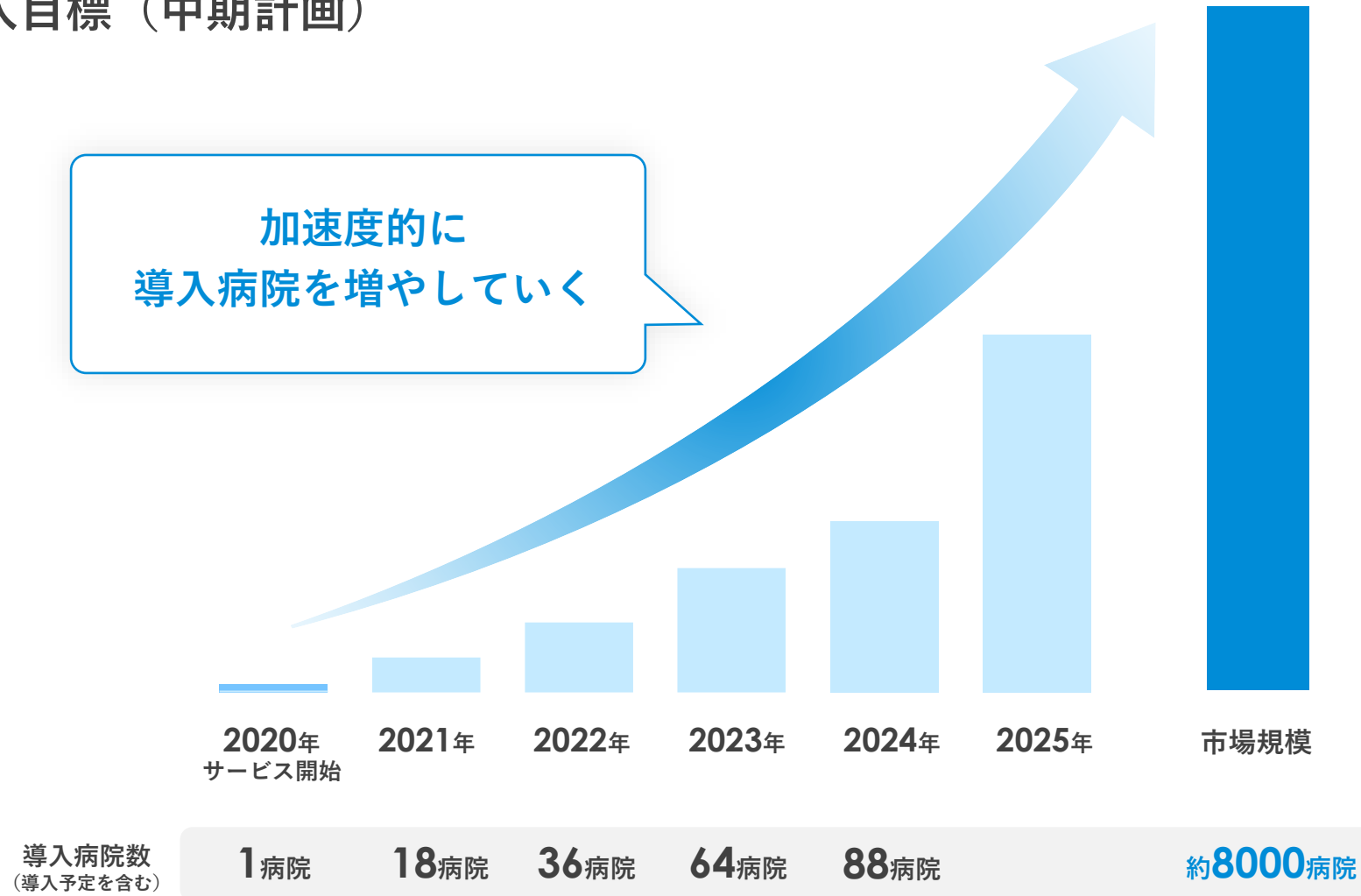
約**8,000**病院
(**200**万回線)
600億円～

介護施設
13,600
施設

訪問施設
47,400
施設

診療所
102,400
施設

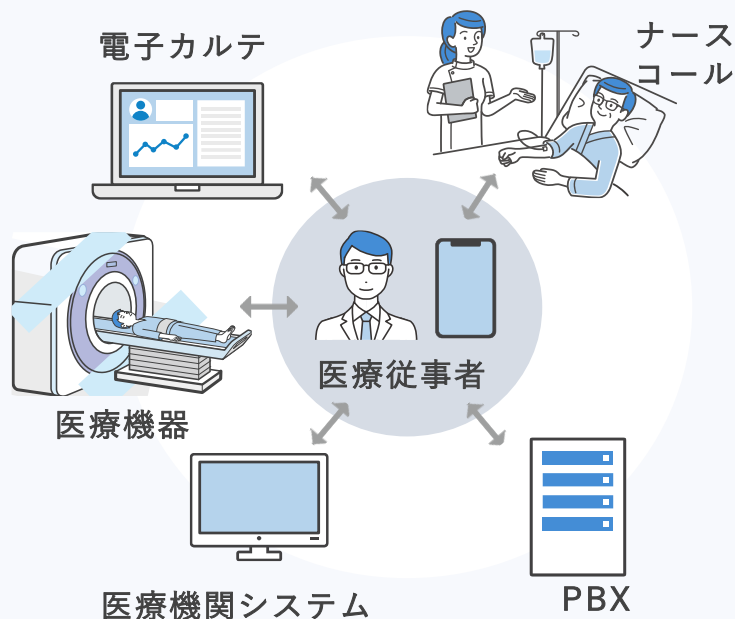
メドコムの導入目標（中期計画）



メドコムをハブとして、
様々なアプリケーション・サービスをシームレスに、かつ病院間で利用できる世界を実現。
医療を情報革命することですべての人を幸せにする。

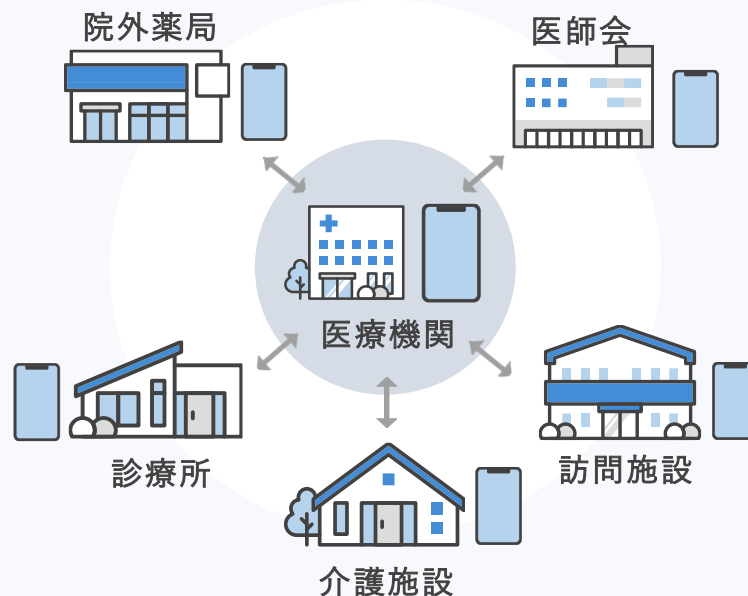
①病院DX

病院内のコミュニケーション基盤



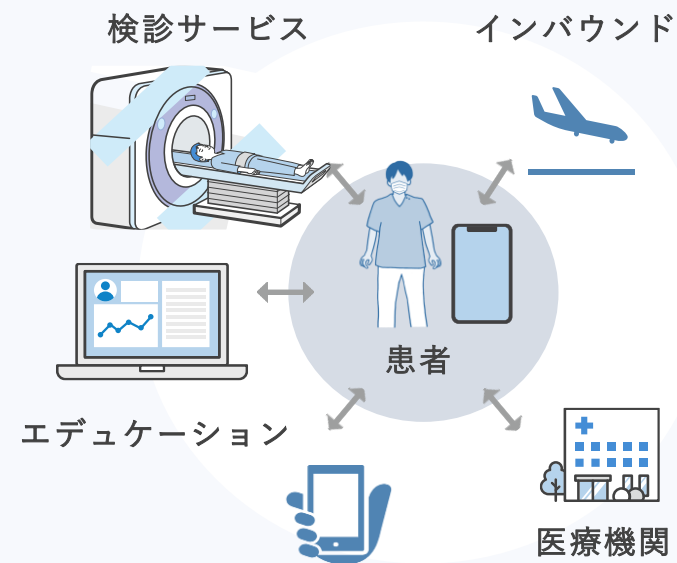
③医療DX

地域医療のコミュニケーション基盤



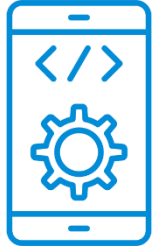
②患者DX

医療情報のコミュニケーション基盤





開発について



アプリ

開発言語：iOS:Swift ,
Android:Kotlin, Java



フロントエンド

開発言語：TypeScript
フレームワーク：Vue.js, React



バックエンド

開発言語：Node.js, TypeScript

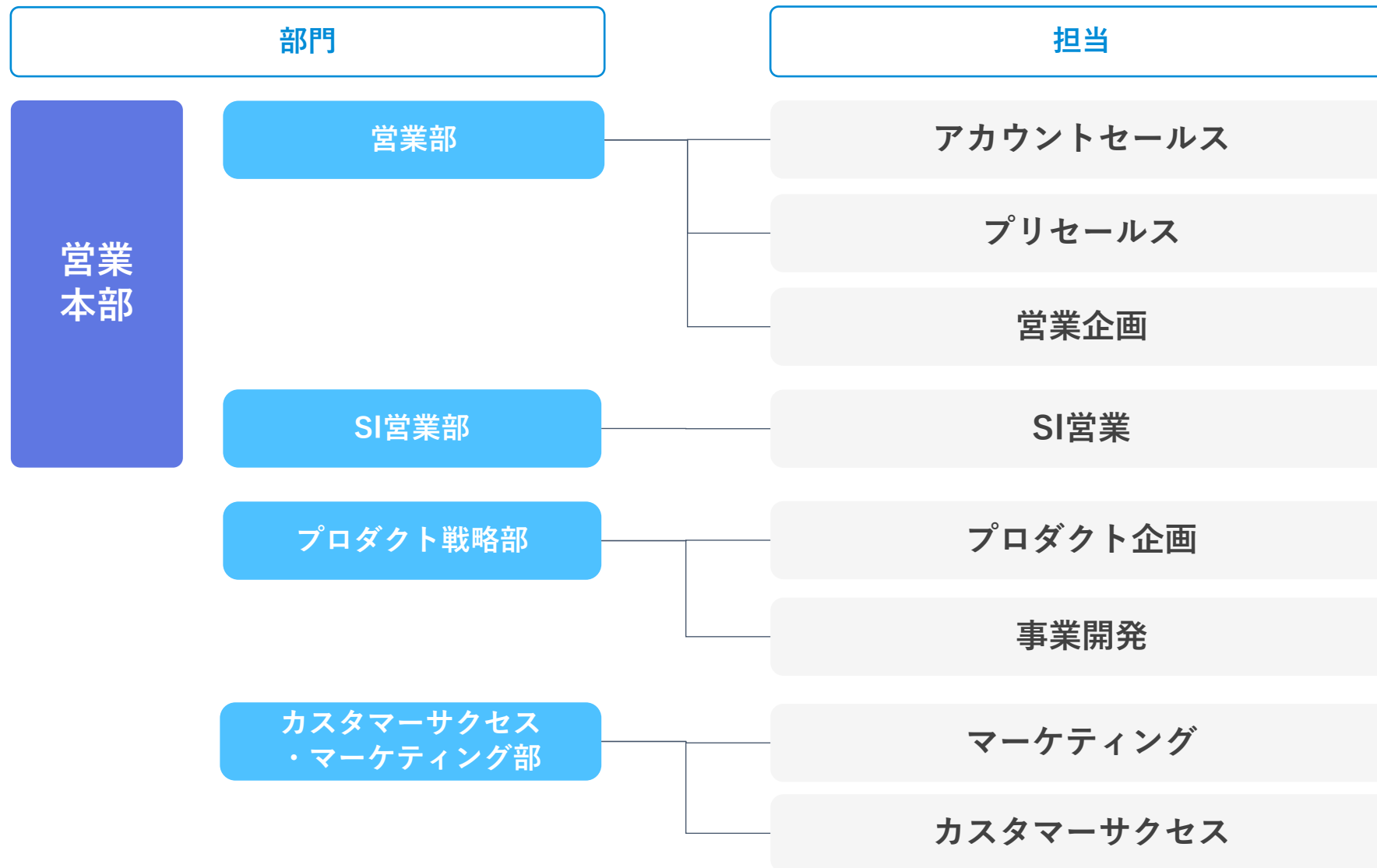


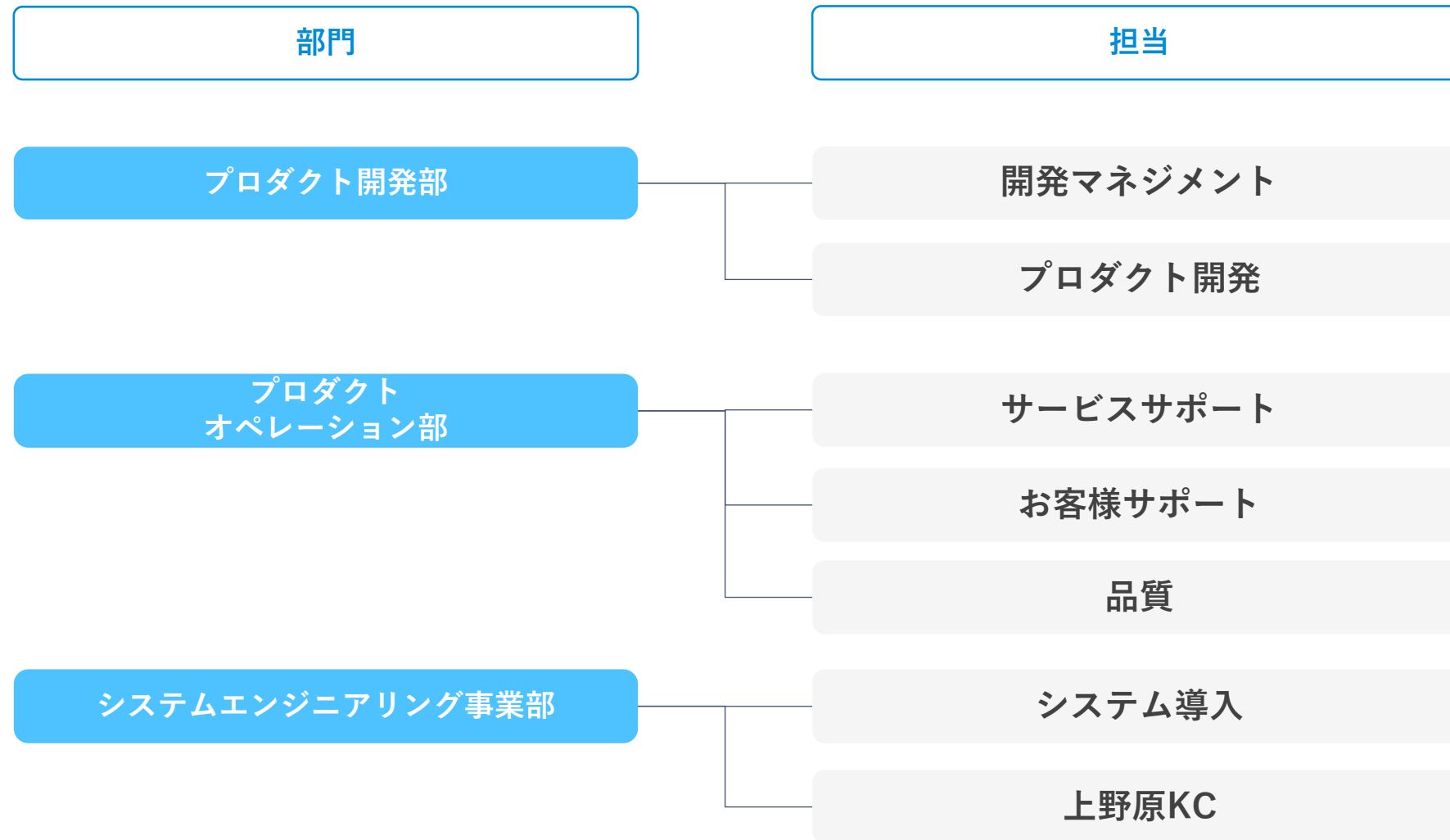
クラウド / インフラ

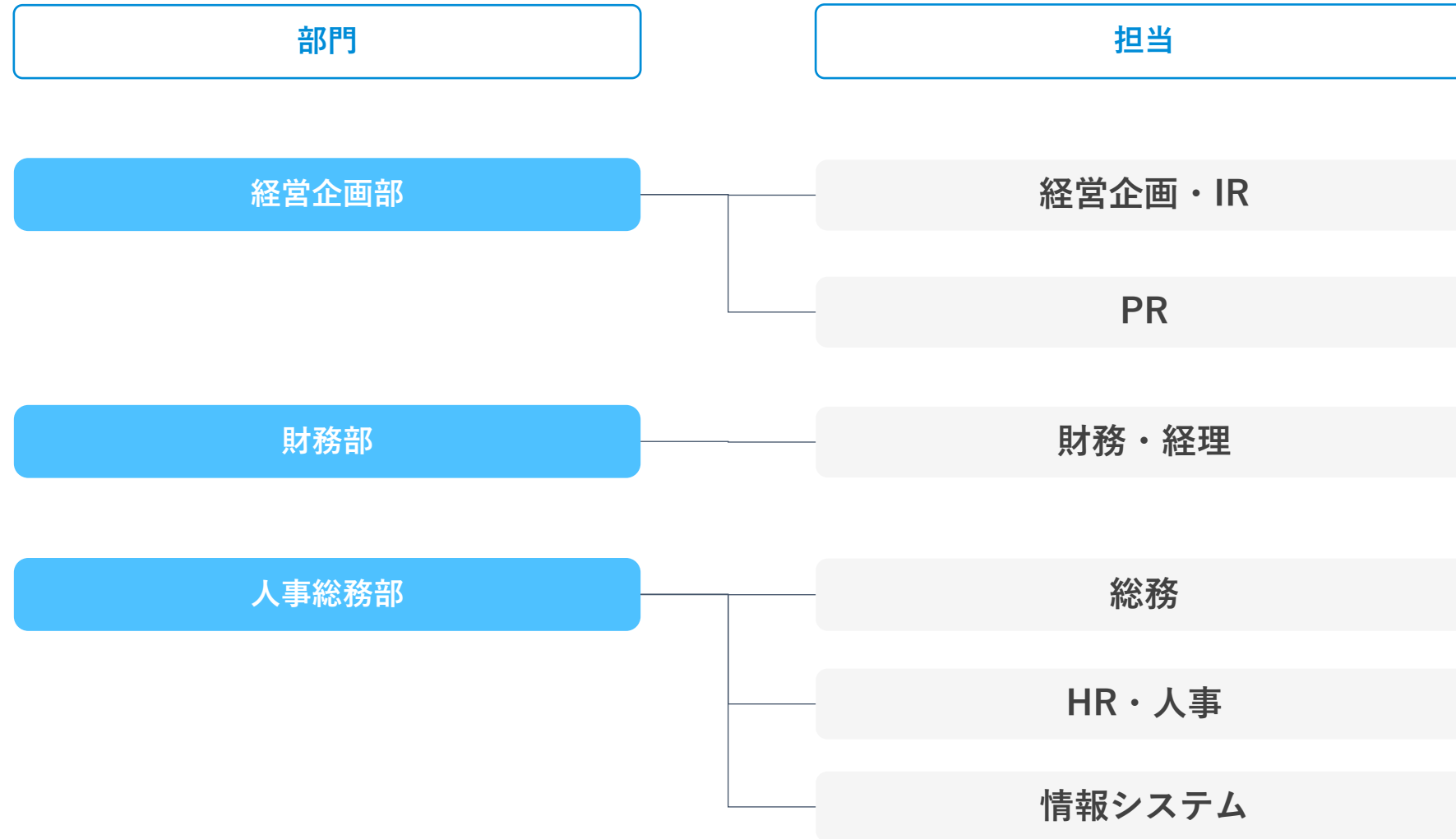
AWS
(EC2, Lambda, API Gateway, RDS,
DynamoDB, Cloud formation など)



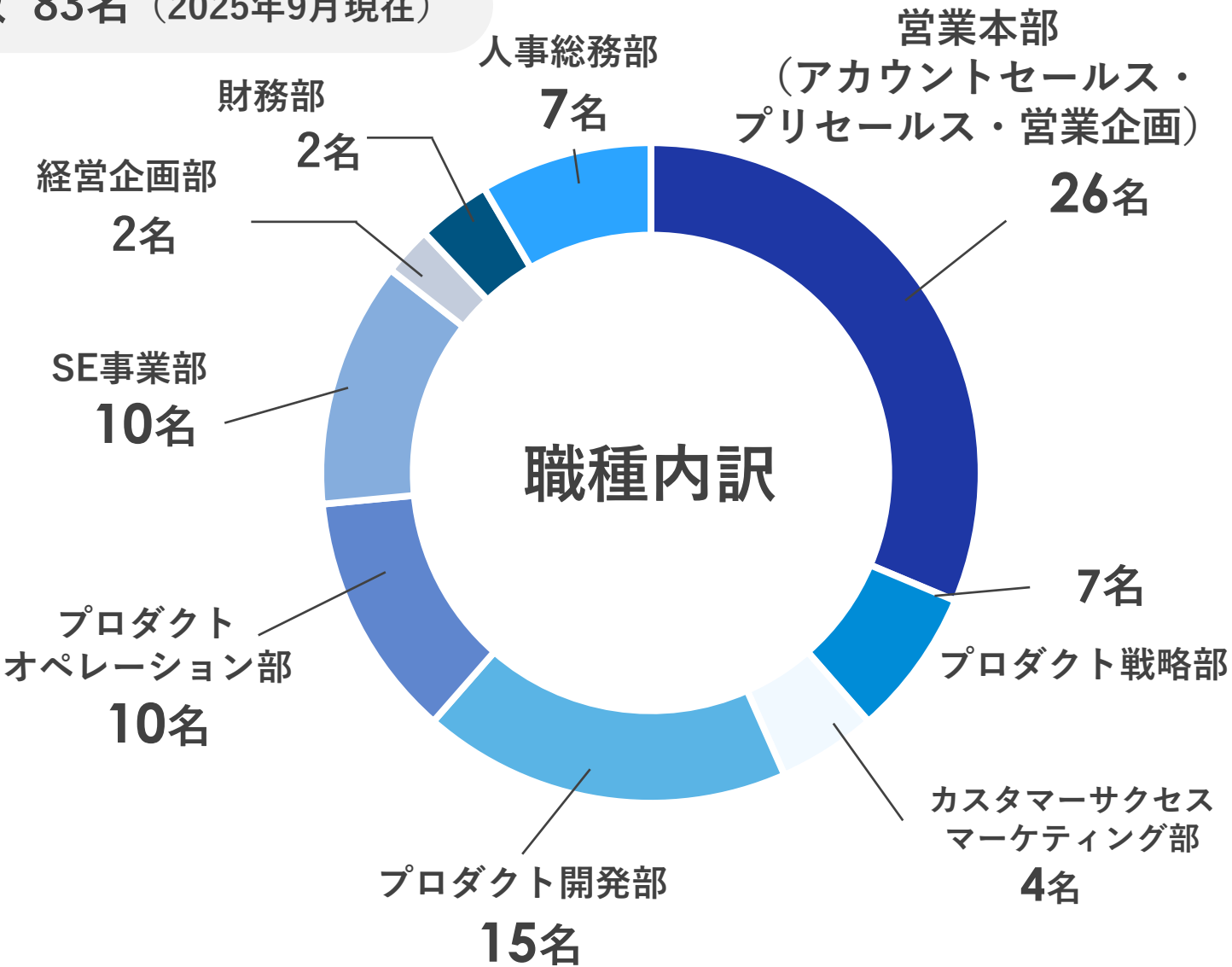
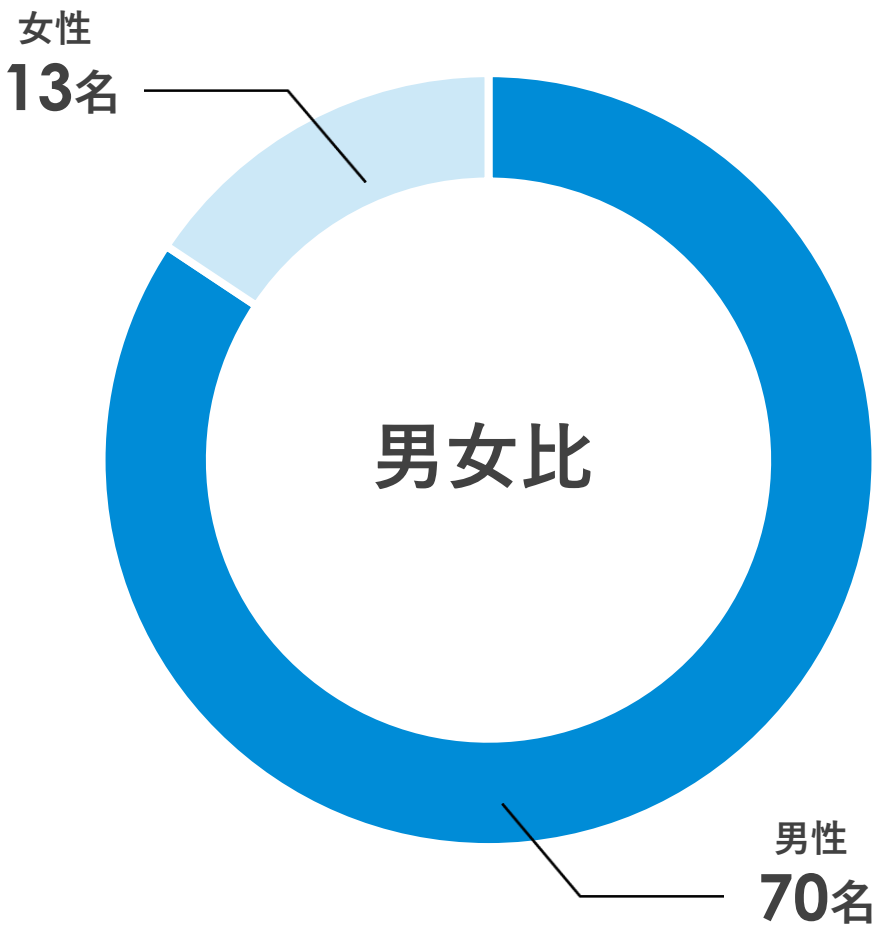
組織について







社員数 83名 (2025年9月現在)



CULTURE DECK

01

PURPOSE ・ VISION
大事にしている要素

▼ PURPOSE

医療の情報革命によって、 全ての人々を幸せにする

日本は世界でもトップクラスの医療大国であり、私たちは非常に質の高い医療サービスを受けることができます。

しかし、日本の医療機関が多くの課題を抱えていることも事実です。

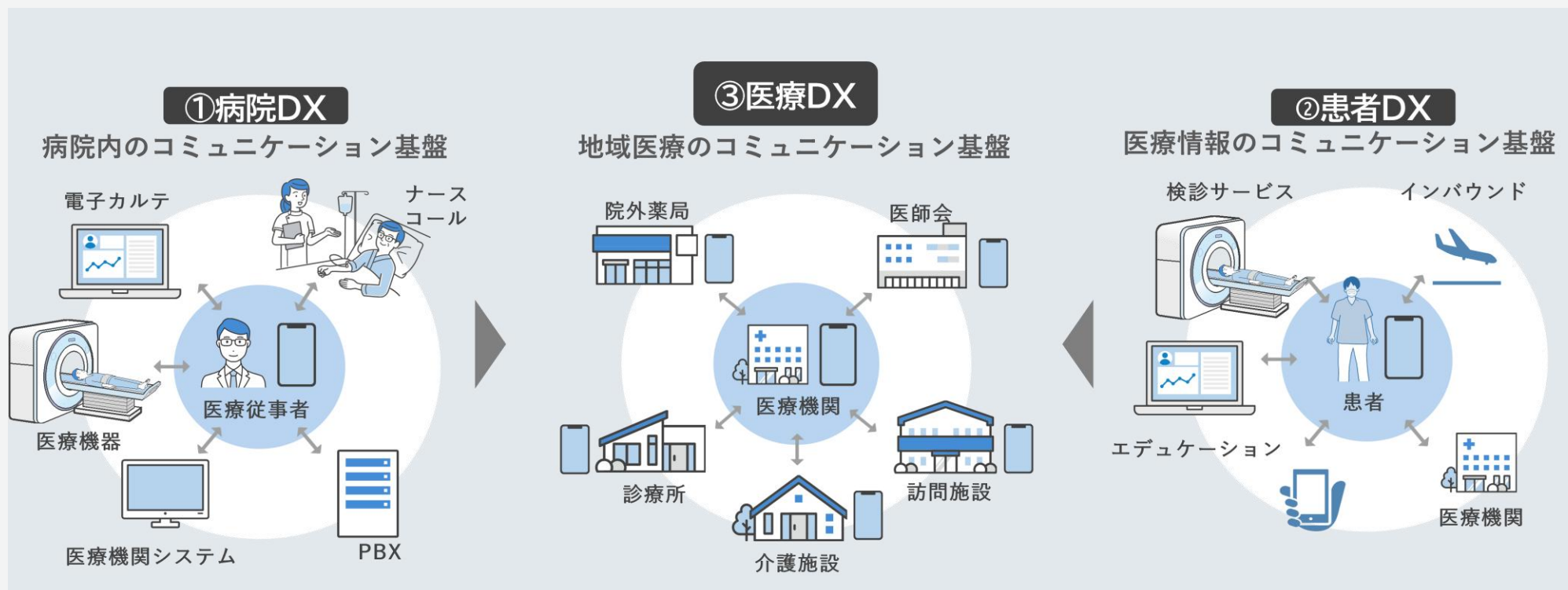
私たちは、メドコムをはじめとしたサービスの提供によって、医療現場における情報流通に革命を起こし、医療従事者だけでなく全ての人々を幸せにしたいと考えています。



▼ VISION

医療ICTプラットフォームを創り、 医療をデジタル化する

メドコムをハブとして、様々なアプリケーション・サービスをシームレスに、
かつ病院間で利用できる世界の実現を目指しています。



▼ 大事にしている3要素

3 elements

挑戦する勇気

未知の領域へ飛び込むことや新たな挑戦をする勇気を起点に、圧倒的な行動力で、学びの機会を創出することにワクワクする

結果を出す執念

結果を出すことがお客様や社会へ貢献することに繋がると考え、未知の領域や困難な課題にも恐れずに向き合う。そして、目標を追い続けるために必要な強い意志を生み出す執念を持ち続ける

成長を楽しむ！

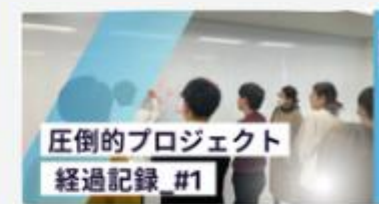
成長とは、少し前の自分よりもできることが増えること、そして何かを成せるようになること。
「自分はどうしたいのか／どうありたいのか」を自身に問い続け考え実行し、それに夢中になる。
そうした日々を熱狂し、一人一人が着実に成長へ向かっていく

▼ メドコムの子員や社内の様子について

🔍 メドコム note



↑ 公式noteはこちらから ↑



02

コミュニケーション

▼ コミュニケーション

全社、組織別、プロジェクト単位、個別での対話を大切にしています。



半期毎の オフサイトミーティング

半期の業績結果・ベストプラクティスなどの共有や、表彰、全社員での対話会などを実施



月次・週次朝会

毎月第1月曜は60分、その他月曜は30分全体での情報共有を実施



風土づくりプロジェクト

組織の活性化や文化醸成を目的とした各種取り組みを実施

03

働き方・福利厚生

▼ オフィス紹介

エントランス

白を基調とし、清潔感を大切にしています



執務エリア

仕切りのない、ワンフロアを使用しています



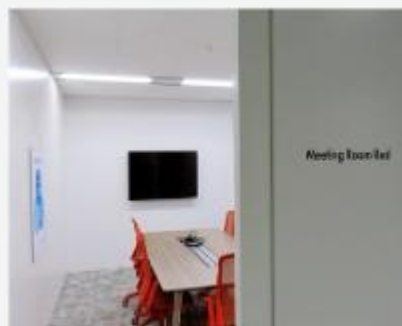
カフェスペース

コミュニケーションスペースとして設けられています



会議室&ミーティングスペース

用途にあわせて使用できるスペースを設けています



▼ 働き方・休暇制度など

有給休暇や育児休暇も取得しやすく、働きやすい環境を整えています。
時間有給の使用でご家庭の事情等に応じて柔軟な働き方が可能です。



勤務時間

フレックス制度
コアタイム11時～15時



休暇制度

完全週休二日
年末年始・夏季休暇
有給休暇



育児介護補助

産前産後休暇
育児休業・介護休業



慶弔見舞

弔慰休暇
お祝金（結婚出産）
お見舞金（入院・災害）

▼ 福利厚生

社員のコミュニケーションを支援・促進するためのものや
スキルアップをサポートを目的とした制度を設けております。



健康維持

本人およびご家族の
人間ドック補助



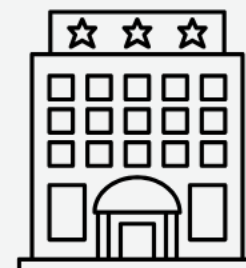
ランチ制度

入社時の
ウェルカムランチ補助



学習補助

資格取得支援制度
参考書購入補助



保険組合関連

福利厚生施設の
割引プログラム
(宿泊施設・レストラン等)

04

採用情報

メドコムは
「勇気」と「執念」をもって
共に熱狂できる仲間を歓迎します！



↑ 募集情報はここから ↑

